

学校研究課題

主体的に表現し、伝え合う児童・生徒の育成

～学習課題の設定の工夫と語彙力の育成を通して～

1 研究計画

(1) 課題設定理由

本校では、昨年、一昨年度と研究主題を「学ぶ楽しさを実感し、自ら学び合う児童の育成」と設定し、「わかる」「できる」が実感できる授業づくりを通して、主体的に学び合える児童の育成を図ってきた。その中で、教師は単元の構成力や授業コーディネート力を向上させることができた。そして、その授業改革をとおして「わかる」「できる」を実感した児童は、自分の考えや意見を進んで述べることができるようになってきたものの、まだ自分の思いや考えを豊かに表現したり、互いの意見や考えを交流させ学び合ったりするまでには至っていない。

そこで、本年度は市の「小中一貫教育実践研究学校」の指定を受け、「しもつけ未来学習」を基盤とした外国語活動の時間を使って、英語学習を中心としたコミュニケーション能力の育成を目的として研究を進めることとした。

(2) 研究主題「主体的に表現し、伝え合う児童・生徒の育成」

副主題「学習課題の設定の工夫と語彙力の育成を通して」

※今回の研究は、研究主題を南河内中学校区で統一し、副主題を各学校の現状や望まれる児童の姿に合わせて設定して進めることとする。

(3) 研究の仮説

児童が「やってみたい」と思えるような学習課題や活動を数多く設定し、ペアやグループ活動の活性化を図る中で、自分の考えを深め表現する力（語彙力・表現の仕方）を向上させたとき、主体的に表現し、伝え合う力を高めることができるだろう。

(3) めざす児童像（身に付けさせたい力）

「既知の学習内容を活用し、表現力豊かに伝え合う子ども」

- ・自分の考えや思いをもてる力
- ・自分の考えや思いを表現する力（語彙力・表現の仕方）
- ・相手に分かってもらうために工夫して伝える力

2 研究の視点

(1) 「やってみたい」を引き出す工夫

- ①児童の興味・関心のある題材の選定（教科横断的な題材）
- ②必要感のる学習課題の設定
- ③聞く・話す必然のある活動

(2) 学習過程における学習形態の工夫

- ①効果的なペア・グループ活動の位置付け方

- ②児童に安心して活動に取り組ませるための見通しをもてる授業の展開
- (3) 基礎的な語彙や表現方法の定着
 - ①繰り返しの学習
 - ②教具の活用 (カード、カルタ)
 - ③効果を高めるための学習環境の整備

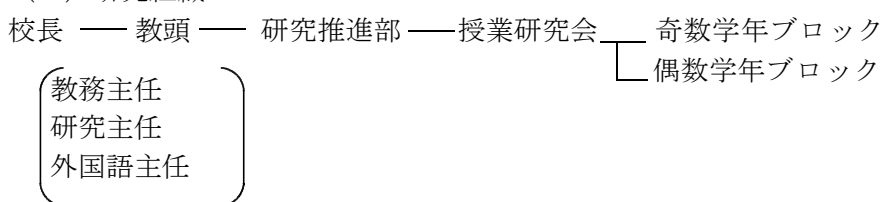
3 研究の方法

(1) 授業研究

- ①校内研究授業及び授業研究会
- ②小中一貫教育推進の一環としての外国語活動研修会

(2) 指導者を招聘しての研修

(3) 研究組織



(4) 研究の形態

- ・ 全体会
- ・ ブロック研修 (授業研究会では校長・教頭・教務などが加わる場合もある)
- ・ 個人研修

(5) 研修日及び時間

- ・ 全体による研修日は原則として水曜日で、時間は 15 : 05 ~ 16 : 35
- ・ 要請訪問や S&U コラボ事業は、これとは別に日時を定める。
- ・ これ以外の研修については、それぞれの内容に応じて計画する。

4 研修計画

	月		研修計画	内容・方法の概要	主務者
前	4	2 火	○嘔吐物処理研修 ○誤飲対応研修	・嘔吐物処理に関する実技研修 ・誤飲に関する実技研修	養護教諭 養護教諭
		3 水	○応急処置研修	・怪我等に関する応急処置の仕方の実技研修	養護教諭
		1 5 月	◇事例研修会	・配慮児童の共通理解	特別支援担当
		2 5 木	●学校課題研修	・研究課題の設定, 研究の趣旨・方針・内容の共通理解, 研究授業の分担	研究主任
期	5	8 水	☆学力向上改善プラン	・とちぎっ子・全国学力調査の分析	研究主任
		1 3 月	○熱中症対策研修	・熱中症に対する応急処置の仕方の研修	養護教諭
		2 7 月	◇いじめ防止対策研修	・いじめ防止及び対策の検討	児童指導主任
	6	5 水	◇学級経営	・Q-Uを活用した学級づくり、学級集団のアセスメントと方策	学級経営担当
			◇特別支援教育	・個別の支援計画	特別支援担当

	1 2 水	● S&U ① (予定)	●授業研究会 (指導者：附属小 八巻 修 教諭)	研究主任
後 期	7	3 水 ●学校課題研修 1 0 水 ○心肺蘇生法研修 1 7 水 ●要請訪問① (予定)	●指導案検討 (6年) ・AED 実技講習 (PTA 研修) ●授業研究会 (6年) 授業者 (山口先生) 市教委 (稲葉指導主事)	授業者 養護教諭 研究主任
		2 3 火 ○道徳科研修 ○服務義務研修	・道徳科における評価について ・事例研修	道徳主任 教頭
		2 4 水 ◇プログラミング研修 ☆学力向上改善プラン	・コレグラフ・ロボブロックスの研修 ・まなび・デキルヨ実施状況確認	情報主任 学習指導主任
		2 5 木 ◇校内就学支援委員会	・就学支援に関する共通理解	特別支援担当
		2 9 月 ○小中合同研修 ◇伝達研修	・南河中地区小中合同英語研修 ・校外の研修内容の伝達	教務 教務
	8	1 木 ●学校課題研修	●指導案検討 (3年)	授業者
	9			
	10	2 3 水 ●学校課題研修	●指導案検討 (3年)	授業者
	11	1 3 水 ○教育課程編成 2 0 水 ●要請訪問② (予定)	・教育課程自己評価結果の検討 ●授業研究会 (3年) 授業者 (澤田先生) 市教委 (稲葉指導主事)	教務 研究主任
	12	4 水 ●学校課題研修	●指導案検討 (5年)	授業者
1	8 水 ◇児童指導・その他 2 9 水 ●要請訪問③ (予定)	・民生児童委員との懇談会 ●授業研究会 (5年) 授業者 (園部先生) 市教委 (稲葉指導主事)	教頭 研究主任	
2	5 水 ●学校課題研修	・今年度の成果と課題 (評価・まとめ) ・次年度の研究の方向性	研究主任	
3				